

|           |  |   |         |    |    |
|-----------|--|---|---------|----|----|
| 科目名       | 中国語6b A (新カリ : 3年次用)   | 単位数   | 1単位     | 学期 | 後期 |
| 担当教員      | 朱 継征   |   | 実務経験の有無 |    | ×  |
| 科目区分      | カリキュラムマップを表示する   | 関連するディプロマポリシー   |         |    |    |
| ナンバリング    | X-21-B-3-320240  | 国際学部B : 高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること |         |    |    |
| 授業の目的     | 中国語の文法項目を体系的に説明し、「速問即答」方式の特訓によって、聴解力、会話力、読解力、作文力などの中国語総合運用能力が身につく。その総合的実践能力を高める中で、さらに中国語検定試験3級合格、HSK(漢語水平考)4級合格できる。授業用の言語はできるだけ多く中国語を使用する。   |   |         |    |    |
| 学修到達目標    | <p>実用的中国語運用のための基礎的語彙、文法項目とコミュニケーションの技能を習得できる。既習した技能を定着させる上で、中国語の「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という実用的運用能力が身につく。特に「受信力」(聴力、読解力)より「発信力」(会話力、作文力)を優先に磨いて向上することができる。中国語の日常用語、文法事項を理解し、習得し、教科書と同レベルの日常会話を速問即答できる。</p> <p>①作文、会話の特訓によって、3,000以上の基本的語彙を活用できる。<br/> ②「速問即答」方式の特訓によって、さらに40以上の基本構文が身につく。<br/> ③教科書と同レベルの日常会話を速問即答、そして作文できる。<br/> ④中国語検定試験3級やHSK4級に合格することができる。</p> |   |         |    |    |
| 実務経験との関連性 |  |   |         |    |    |

| 授業計画 |   |
|------|---|
| 第1回  | 文法と会話1 : 1) 高頻度副詞、2) 低頻度副詞、3) 部分的否定の頻度副詞、4) 全面否定の頻度副詞     |
| 第2回  | 文法と会話2 : 1) 二つの動作の同時進行、2) 動作動詞、3) 状態動詞、4) 継続動詞            |
| 第3回  | 文法と会話3 : 1) +評価程度副詞、2) -評価程度副詞、3) 部分的否定の程度副詞、4) 全面否定の程度副詞 |

|      |   |
|------|---|
| 第4回  | 文法と会話4：1) +評価程度補語、2) -評価程度補語、3) 部分的否定の程度補語、4) 全面否定の程度補語 |
| 第5回  | 文法と会話5：1) “想”～と“愿意”～、2) “能”～と“会”～3) “好”～と“难”～           |
| 第6回  | 文法と会話6：1) “喜欢”～と“爱”、2) “容易”～と“不容易”、3) “打算”～と“准备”～       |
| 第7回  | 文法と会話7：“快～了”と“要～了”                                      |
| 第8回  | 文法と会話8：“开始～”と“～起来”                                      |
| 第9回  | 文法と会話9：“在～”と“～着”  |
| 第10回 | 文法と会話10：“～完”と“～过”                                       |
| 第11回 | 文法と会話11：“～了”と“～着”                                       |
| 第12回 | 文法と会話12：“～过”の様々な用法                                      |
| 第13回 | 文法と会話13：「“把”構文」と結果補語                                    |

|      |                        |
|------|------------------------|
| 第14回 | 文法と会話 14: 「“被”構文」と結果補語 |
| 第15回 | 文法と会話 15: 「主動文と受身文」の互換 |
| 第16回 | 定期試験                   |

| 授業時間外の学習  |  |
|-----------|--|
| 【予習】時間・内容 | 1時間。予定の内容を予習して単語を覚え、作文と会話の内容を準備する。       |
| 【復習】時間・内容 | 1時間。授業で学んだ内容を繰り返し練習し、単語、語法、作文の内容などを復習する。 |

| 成績評価      |  |
|-----------|--|
| 評価基準・方法   | 期末試験の点数（60%）、毎回の授業での作文と会話（30%）、授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価する。 |
| フィードバック方法 | 定期試験の問題点を総括して説明する。                                       |

| アクティブラーニング |   |
|------------|---|
| 実施の有無      | ○   |
| 実施内容       | ディスカッション、ディベート  |
| 教科書/参考書    | 教科書：未定<br>参考書：各種の中国語辞書、中日辞典   |
| 受講上の留意点等   | 辞書を持参すること、予習・復習をすること。<br>聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力すること。日本語の使用を最小限にすること。 |
| JABEE      |   |

|           |   |  |         |    |    |
|-----------|---|--|---------|----|----|
| 科目名       | 中国語6b B (新カリ: 3年次用)   | 単位数  | 1単位     | 学期 | 後期 |
| 担当教員      | 姜 杰裕  |  | 実務経験の有無 |    | ×  |
| 科目区分      | カリキュラムマップを表示する  | 関連するディプロマポリシー  |         |    |    |
| ナンバリング    | X-21-B-3-320240   | 国際学部B: 高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること |         |    |    |
| 授業の目的     | 今の中国の「衣・食・住・遊」についての豊富な内容を優れた中国語表現で紹介している文章を学ぶ。現代中国の「事情」を知りながら、関連している語彙を増やし、国際的な感覚を養い、より広い範囲で会話ができるようになる。基礎文法を触れながら復文法を重点的に学習する。日常会話や簡単な作文だけにとどまらず、物事について論じ、解説などの「書く」力を高め、より高度な表現力を習得し、国際社会で必要な言語能力を身につける。 |  |         |    |    |
| 学修到達目標    | 物事に対する自分の意見や説明が流暢尚且つややより高度な中国語で表現できるように、国際社会で必要な中国語コミュニケーション能力を身につける。   |  |         |    |    |
| 実務経験との関連性 |   |  |         |    |    |

| 授業計画 |                             |
|------|-----------------------------|
| 第1回  | 休み課題発表する。第一課の新出単語・文法学習・応用練習 |
| 第2回  | 第1課の本文の解読、練習問題の答え合わせ・会話練習   |
| 第3回  | 第2課の単語確認と文法解説と文法応用練習        |

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 第4回  | 第2課の本文の解読とドリルの答え合わせ・会話練習        |
| 第5回  | 「称呼」と「大学生の恋情」について話し合い・意見発表・作文   |
| 第6回  | 第3課の新出単語・文法学習・文法応用練習            |
| 第7回  | 第3課本文解読・ドリルの答え合わせ・会話練習          |
| 第8回  | 第4課新出単語・文法学習・文法応用練習             |
| 第9回  | 第4課本文解読・練習問題の答え合わせ・会話練習         |
| 第10回 | 題目作文（授業の時指示）発表1<br>発表内容について質疑応答 |
| 第11回 | 第5課単語確認・文法解説・文法応用練習             |
| 第12回 | 第5課本文解読・ドリルの答え合わせ・会話練習          |
| 第13回 | 第6課新出単語確認・文法解説・文法応用練習           |

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 第14回 | 第6課本文解説・練習問題の答え合わせ・会話練習  |
| 第15回 | 第5課と第6課の内容について意見発表・会話練習  |
| 第16回 | 期末レポート提出（レポート題目は事前に知らせる） |

| 授業時間外の学習  |  |
|-----------|--|
| 【予習】時間・内容 | 新出単語を調べ意味が分かるようにする。文法を事前にテキストの解説を見て、問題点をメモしたり、調べたりして予習する。本文の内容を事前に予習して置く。予習時間4時間以上                     |
| 【復習】時間・内容 | 新出単語を書ける・言える・応用できるように復習する。習った本文を文法・意味を理解した上に発音が正しく流暢に読めるように練習する。会話練習に積極的に参加し、自分の意見が言えるようにする。復習時間4時間以上。 |

| 成績評価      |  |
|-----------|--|
| 評価基準・方法   | 成績は期末試験（40%）、宿題・課題（40%）、授業参加意欲（20%）を合わせて総合的評価する。 |
| フィードバック方法 | 課題・宿題については添削してから返却し講評する。試験については試験後に答え合わせし講評する。   |

| アクティブラーニング |                   |
|------------|-------------------|
| 実施の有無      | ○                 |
| 実施内容       | グループワーク/プレゼンテーション |

|          |  |
|----------|--|
| 教科書/参考書  | 「知っている？今の中国～衣食住遊～」 山下輝彦 ・ 路元 著 朝日出版  |
| 受講上の留意点等 | 辞書を持参する。成績は授業態度、出席率、課題提出、レポート成績により総合的に評価する。授業の予定内容は実情により調整することがある。あらかじめご了承ください。授業では極力中国語を使い、予習復習をしっかりやってきてほしい。レポートは添付ファイルで提出することと時間厳守すること。<br>目標を立て、学習計画、学習工夫して有効に楽しく中国語を勉強する。CDやインターネットなどを利用して毎日意識的に中国語に触れるようにする。本文の内容を理解したうえで暗唱できるほど熟読する。日常生活の中でできるだけ中国語を使い、中国語を使うチャンスを逃さない。 |
| JABEE    |  |



|           |  |  |         |    |    |
|-----------|--|--|---------|----|----|
| 科目名       | 中国語6b (旧カリ: 4年次用)  | 単位数  | 1単位     | 学期 | 前期 |
| 担当教員      | 姜 杰裕   |  | 実務経験の有無 |    | ×  |
| 科目区分      | カリキュラムマップを表示する   | 関連するディプロマポリシー  |         |    |    |
| ナンバリング    | X-21-B-3-320240  | 国際学部B: 高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること |         |    |    |
| 授業の目的     | テキストの各短編論説や時事紹介などの学習を通して、中国の「時事」を知り、最新の中国の様子を知り、現代中国の流行語や、より複雑な政治、社会事情、文化風習、日常生活場面の表現を習得していく。今まで習った文法や語彙を加えて、日常会話や簡単な作文だけにとどまらず、物事について論じ、解説などの「話す」力と「書く」力を高め、より高度な表現力を習得し、国際社会で必要な言語表現を学ぶ。 |  |         |    |    |
| 学修到達目標    | 物事に対する自分の意見や説明が流暢尚且つより高度な中国語で表現でき、いろいろな場面での会話に対応できるように、国際社会で必要な中国語コミュニケーション能力を身につける。   |  |         |    |    |
| 実務経験との関連性 |  |  |         |    |    |

| 授業計画 |  |
|------|--|
| 第1回  | 新学年の学習計画の説明及び各自の自己紹介と学習目標を設定する。第一課学習 1 |
| 第2回  | 第1課読解                                  |
| 第3回  | 第1課の本文の内容について意見交換・会話練習                 |

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 第4回  | 第2課の単語確認・文法読解と本文解説1   |
| 第5回  | 第2課の本文読解2と会話          |
| 第6回  | 第3課単語確認・文法解説と本文の読解1   |
| 第7回  | 第3課文法読解2と本文の内容についての会話 |
| 第8回  | テーマ作文の発表と講評           |
| 第9回  | 第4課文法解説・本文読解1         |
| 第10回 | 第4課本文読解・音読確認          |
| 第11回 | 題目作文発表と講評             |
| 第12回 | 第5課単語確認・文法解説          |
| 第13回 | 第5課本文読解・会話            |

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 第14回 | 第6課文法解説・本文読解 1           |
| 第15回 | 第6課本文読解 2・本文の内容について話し合い  |
| 第16回 | 期末レポート提出（レポート題目は事前に知らせる） |

| 授業時間外の学習  |  |
|-----------|--|
| 【予習】時間・内容 | 事前にテキストの新出単語の意味を調べ、文法を予習して置く。本文を日本語に訳してみる。予習時間 4 時間  |
| 【復習】時間・内容 | 授業で学習した時事中国語をよく理解して、不明点があれば調べて、応用できるようにする。本文を日本語に訳して、意味を理解した上に流暢に読めるように練習する（声調に要注意）。復習時間 4 時間。 |

| 成績評価      |  |
|-----------|--|
| 評価基準・方法   | 成績は 期末試験（40%）、宿題・レポート（30%）、授業態度・授業参加（30%）を合わせて総合的評価する。               |
| フィードバック方法 | 宿題については答え合わせをして解説する。課題と発表については内容や発音など確認し、講評する。試験については試験後に模範解答、講評をする。 |

| アクティブラーニング |                   |
|------------|-------------------|
| 実施の有無      | ○                 |
| 実施内容       | グループワーク/プレゼンテーション |

|          |   |
|----------|---|
| 教科書/参考書  | 「時事中国語の教科書―后疫情时代―」2021年度版 朝日出版社<br>水瀧正道 陳祖蓓 古屋順子  |
| 受講上の留意点等 | 辞書を持参する（紙媒体のもいいし、電子辞書でもいい）。<br>授業では極力によく中国語を使い、予習復習をしっかりとっておく。<br>レポートは添付ファイルで提出することと時間厳守すること。<br>授業の予定内容は実情により調整することがある。 |
| JABEE    |   |